

三兵木公十カ働カ学舎 支える会より

〒433-8108 浜松市北区根洗町 681 番地の 5 ☎053-430-0596
浜松協働学舎を支える会 代表 荻野英子

2020.6.20

No. 66

コロナ禍に思うこと

浜松協働学舎企画相談室長 高木誠一

「コロナ禍(か)」という言葉が生まれました。「コロナ禍(か)」とは、新型コロナウイルス感染症が招いた危機的・災厄的な状況のことで、社会的・政治的・経済的な、混乱・不安・損失などを総称した言葉です。今も感染は収まってはいない状況で、私たちは不安の中で暮らしています。このコロナ禍を体験したなかで、私が思ったことを記したいと思います。

福祉施設での感染予防

福祉施設は共同生活の場所であり、一度感染者が施設内で発生するとクラスターとなり、ご利用者、職員へと感染が広がることは避けられません。

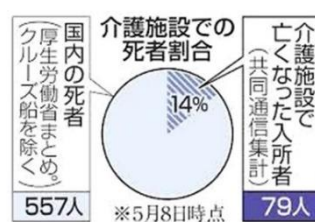
国内では、多くの高齢者施設で集団感染が起き、多くの高齢者が亡くなりました。障がい者施設でも千葉県、広島県で集団感染する施設が相次ぎました。

全国的に感染が広がった3月から、感染は施設の外から持ち込まれるため、ひかりの園の全施設では、職員や委託の業者社員に対し出勤時の検温、健康チェックを徹底し、外来者にも消毒と検温をお願いすることとしました。定時に施設内のアルコール消毒を徹底しています。

ひかりの園の内部に「新型コロナウイルス対策会議」を設置して、感染予防と万一感染が起きた場合の対応準備を検討しました。感染者が発生した場合の「レッドゾーン」の確保、緊急時の職員体制の確保、医療機関との連携、マスクや防護服の備蓄などを検討して対応体制を整備しています。

テレワークではできない仕事

福祉施設では、ご利用者に「密接」にかかわらなければ支援は成り立たないため、国が推奨するテレワークで仕事をするのはまったく困難です。福祉現場は人が直接人に対して支援を行う場



で、「3密」を避けて仕事はできません。

一方では、5月13日の新聞報道では、感染して亡くなられた人(557人)の約14%が介護施設で暮らしていた高齢者であると報じられ、福祉施設の感染は非常にリスクが高いことが明らかになりました。福祉施設での感染はご利用者のいのちに関わります。ですから、ご利用者に身体を寄せて介護や支援を行う支援者が感染源になることは絶対に避けなければなりません。法人では全職員のプライベートな活動にも踏み込んで、外出の自粛などを厳しく要請しました。根洗寮やグループホームでは、ご利用者のご家族も面会できない日が続きました。手紙やメールで写真や動画を送りご利用者の様子をお伝えしています。

幸いに今のところ浜松市には感染は拡大せず、感染予防策のために短期入所や相談支援などの一部の事業で縮小・制限を行った以外は、ご利用者にとっては生活に欠かすことのできない大切な拠り所であるという考えから、浜松協働学舎の各事業所は通常通り事業を継続しています。

いのちと生活を守る仕事の大切さ

医療現場では、多くの医療従事者が困難な状況に直面し、身を挺してコロナに立ち向かっています。医療従事者への感謝のメッセージとエールを送るプロジェクトも大きな共感を呼んでいます。一方では、感染者を受け入れる病院の従事者が地域のなかで差別(迫害)にあうなど、人々の心は本当に複雑です。医療従事者だけではなく、コロナ禍のなかでいままでは見えにくかった人々の役割の大切さも浮かび上がってきました。感染防止のために、国



アクリル板を挟んでの相談面接
相談支援事業所までにて

は外出自粛やIT技術を駆使してのテレワークを推奨していますが、そのなかで休まず働き続けている人々もいました。医療保健関係者の他、福祉、保育、教育、行政、警察、ゴミの回収やスーパーの販売などの人たちが、リスクを冒しながら日々働いている姿が目まぐるしくなりました。経済活動が制限される中で、こうした人々の働きが、非常事態宣言下の国民の生活のちを支えてきたといえます。しかし、今まではこうした仕事は「生産性」が低いと言われ、低い賃金水準に置かれてきたのが実情です。コロナ禍の経験は、人々に直接、生活のケアやサービスに携わる労働を再評価することを求めていると思います。

イタリアやスペインでは、緊縮財政から病院や従事者を減らしていた結果、医療崩壊の危機に直面しました。わが国の社会が、本当にいのちを支えあう社会として維持できるのか、今回のような緊急時に対応できる社会なのか、反省すべきことは多いと思います。

すべての人のいのちを大切に

ヨーロッパでは、5月18日時点のデータで、感染死亡のうちの介護施設利用者の割合が、フランスでは50%、スペインでは66%、ドイツでは37%と、日本よりはるかに高い確率で介護施設利用者が亡くなっています。テレビのニ



テイクアウトの料理で「家飲み」

ュースで、イタリアの医療現場では人工呼吸器の絶対数が不足し、高齢の患者と若者の患者、どちらに呼吸器を優先的に装着するか、という選択を迫られる事態が多発していると報じていました。「社会を維持するためには、

高齢者よりも若者を救うという判断をせざるを得ない・・・」「70歳以上の患者は受け入れない・・・」と、現場の医師と医療機関がこうした選択をしなければならぬと。また「スペインでは老人ホームが見捨てられ、ベッドから亡骸(なきがら)が見つかった」と報じられていました。

日本ではこうした事態には至らず、医療崩壊や介護崩壊は起きなかったことは本当によかったと思います。しかし、改めて「福祉の価値」が問われていると考えました。医療崩壊、介護崩壊が起きて、社会が危機に陥ったときに、「弱い人を切り捨ててもしかたがない」という選択が繰り返され、こうした考え方があたりまえになることはとても怖いことです。

私たちは「すべての人のいのちを大切に」という人間倫理のもとに福祉の仕事を続けています。この人間倫理が壊れるとすると、福祉はどれだけ後退していくかと危惧を感じています。

支援のあり方に悩みながら

非常事態宣言は解除されましたが、職員は今もなお高い緊張感を保ち続けながら、就労の支援、療育、介護などそれぞれの現場で支援にあたっています。

国の専門家会議から「新しい生活様式」が示されました。人との間隔はできるだけ2メートル空ける・人と近づかない・人と向き合わない・人と近くで話さない・・・これでは福祉の支援は成り立ちません。私たちの仕事の基本は、ご利用者に寄り添い、向き合い、相手に触れ、語り合うことです。自閉症の人の気持ちの安定のためには、一斉に聞こえるような大きな声を出してかかわることは厳禁です。聴力の不自由なご利用者には、顔を寄せて耳元で話さなければなりません。

「食事もおしゃべりせずに食べることに集中する」という提案も困惑します。そもそも食事とは、おいしいものを分かち合って、コミュニケーションを楽しむ



工房ゆうの食事風景

時間です。ご利用者のものとも楽しみとする時間です。支援者の言葉がなかったら、食事の介護はただもくもくと口に食べ物運ぶ「作業」に終わってしまいます。食事の介護が無言で行われるようになったら、それは支援の質の大きな後退になります。

今はマスクの着用は不可欠です。暑い季節でも息苦しさをこらえてマスクを着けた生活を続けていますが、マスクの着用はコミュニケーションの障害にもなっています。知的障がいのある人には理屈よりも感情で伝える場面がふんだんにあります。感情の表現は私たちの仕事のツールです。支援者にはマスクを着用してもご利用者に気持ちを伝えるケアの工夫が求められます。マスクを着用した職員が入浴を介助する際の熱中症予防も課題となっています。

「新しい生活様式」がそのまま福祉の現場に定着したら、支援は無味乾燥で画一的な対応になり、人が人に寄り添い、共に歩むという援助の根幹が揺らぐことになります。ご利用者の尊厳は支援者との人格ある交わりから生まれます。これまで培ってきた支援の質をいかにして維持していくか、職員の皆様には「リスク共生」といわれる時代の支援のあり方をいかに考えるか議論を重ねてほしいと思います。日々状況が変わり、これからの見通しも見えないなかですが、福祉援助の基本に立ち戻りながら知恵を出していくことが求められています。

これから備えて

新型コロナ感染が起きた千葉県障害者福祉施設

設では、5月15日に入所者と職員のほぼ全員が回復したと報じられました。しかし、入所者2人が亡くなされました。この施設では、3月末に入所者、職員ら計58人の感染が判明し、さらに関係者家族を含む計121人の感染となりました。知的障害のある人の数多くの入院受け入れは困難であると、施設内を病室として医師と看護師が常駐して診療にあたりました。

入所施設やグループホームは集団生活の場所であり、感染が発生した場合に感染者の部屋だけの隔離はとても難しい状況です。感染したご利用者で重篤な人は入院対応となりますが、軽症者はホテルで療養できるのでしょうか。支援者が同宿しなければ実際には困難です。家庭に戻るという方法もありますが、多くの家族は高齢で一層リスクが高まります。そう考えると、感染した人のための隔離棟を用意することが現実的で、浜松協働学舎では感染が発生した場合に、通所施設を閉鎖して一部を隔離棟にする案を考えています。

隔離棟が確保されても本体施設の支援もあり、支援の現場が分散するため、支援者の数の確保が必要になる

ごみ袋の防護服 緊迫の介助

「二次感染はないよ、全員が回復した」といって、金銭的に困窮している。計100人の新型コロナウィルス感染者が集中した千葉県船橋市の障害者施設「北郷」で、千葉県庁から派遣された介護士2人の男性は、施設内で感染した利用者（男性）のケアにあたっている。

千葉の障害者施設 集団感染との闘い



施設内では、すでに感染が確認された利用者や職員が、隔離棟で療養している。施設内では、すでに感染が確認された利用者や職員が、隔離棟で療養している。施設内では、すでに感染が確認された利用者や職員が、隔離棟で療養している。

ります。千葉県の施設では、感染した職員たちは支援業務から外れ、支援者が圧倒的に不足しました。法人内の職員や市の職員や保健師が応援に入りましたが、とても過酷な状況だったと報告されています。支援に携わる職員も感染している可能性があるため家庭には戻れず、ホテルの予約が取れるまでは施設内や自家用車の中で宿泊したそうです。

同様の事態が発生した場合には、行政、法人内、地域の応援体制が不可欠です。千葉県のこの障害者施設を支援してきた淑徳大学の松浦俊弥教授は「今後同じようなことが起きた時の一つの典型例になる。私たちがこの経験を共有しながら（実際に集団感染が）起きたらこうしようというのを、今から作っていくしかない」と語り、災害などの非常時に福祉施設の救援にあたる「災害派遣福祉チーム（DWAT（ディーワット）」について、国レベル、都道府県レベルでの早期立ち上げを求めています。行政と地域の福祉関係者で緊急事態の応援体制をどう構築するか早急な検討が必要です。

千葉県の施設では、感染した利用者を直接ケアする際の防護服が不足して、ごみ袋を粘着テープでつなぎ合わせて防護服を用意したとのこと。マスクや防護服、フェイスシールド、アルコール消毒液など国も配布の支援策を講じていますが、非常時に備えた備蓄が必要だと実感しています。

浜松協働学舎の手作り製品をぜひご利用ください

経済活動が停滞して、各事業所の作業の受注は大幅に減っています。企業からの受注も少なくなりました。根洗作業所では、受注作業が減るなかで、手作りマスクの製造販売を行っています。こもればの家にあった焼きたてパンのお店は営業をつづけて



きました。手作りのクッキーの「しまうま倶楽部」や「せんぶれつ」との自慢の製品もイベントでの販売の機会が減り、収入は激減しています。3月に予定していた「春のやきもの祭り」も中止となりました。

授産事業（生産的活動）は、浜松協働学舎の福祉サービス事業と同様に、ご利用者の生きがいと社会参加を実現し、また工賃を保障することで、ご利用者の地域生活を支えるきわめて重要な浜松協働学舎の活動です。

授産事業の継続、活性化のために地域の皆様のご協力を切にお願いしたいと思っています。ぜひ、浜松協働学舎の手づくり製品・自主製品のご購入をお願いします。

緊張の中でも

外出ができない、外食に行けない、買い物ができないなど、ご利用者もストレスが高まっています。このような状況の中ですが、テイクアウトで好きな料理を注文したり、オンラインで買い物を楽しんだり、施設の中で楽しめるミニイベントを開催したり、できる限り楽しい時間を過ごしていただけるように工夫しています。

緊張感が続く毎日ですが、私たち職員は、毎日ご利用者の笑顔に支えられています。それが私たち職員の拠り所だと実感しています。テレワークやオンライン会議などで、新しい人とのつながりが始まっています。が、福祉の場は人格と人格が直接的に深くかわりあう場であることを、このコロナ禍のなかで改めて思いました。



マスク製作風景



工房ゆう

今田舞 いまだ まい

- ①愛犬のブルドッグと遊ぶ
- ②一期一会
- ③エーゲ海クルーズ

工房ゆうの事務担当職員として12月より勤務させていただいております。これまでは金融や家電量販店での仕事をしていました。娘の中学・高校入学を機に、自分自身の生涯をかけて出来ることはと考え、地元の施設の工房ゆうでのご縁をいただきました。初めての福祉のお仕事で、不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、お役に立てるよう日々努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

浜松協働学舎 新職員紹介



所属 氏名 自己紹介

①休日の過ごし方 ②座右の銘 ③1000万円あったら



工房ゆう

比嘉徳明 ひが のりあき

- ①楽器演奏、読書
- ②自分の良さを活かして誰かの喜びに貢献する
- ③半分は両親、半分は自分のために使います

昨年の6月に入職してからもうすぐ一年になります。初めてのことも多く、戸惑いもありましたが、周りの人達の助けや支えもあり、おかげさまでなんとかやってこられたように思います。この一年、ご利用者の支援をさせていただくなかで、自分自身がご利用者に育てていただいている、成長させていただいていると感じます。おかげさまでお互いさまの心を持ちながら、今後も頑張っていきたいと思っています。



根洗作業所

原裕達 はら ひろたつ

- ①息子と午前午後と、二回の散歩
- ②今日は昨日の我に勝つ
- ③家の貯蓄と、両親・義親へ恩返し

幼少から剣道を始め、今も道場に通い、自分の人生でかけがえのない存在になっています。そんな親は息子にも剣道に興味を持ってもらいたいと考え、事ある毎にYouTubeで動画を見せ、動きを真似させています。真似ることで、それが学ぶへの一歩。異業種から福祉の世界に飛び込みました。十分な経験を培っている先輩方を自分なりの真似から、しっかりと学び得て取り組みます。因みに息子は、今では泣いている時に動画を流すと、泣き止むようになりました。



工房ゆう

向田真由美 むこうだ まゆみ

- ①息子のサッカー観戦、今は買い物
- ②いつでも笑顔、なんでも挑戦、一期一会
- ③海外旅行へ行きたい

昨年の10月より工房ゆうで働かせていただいております。今までは老人施設で働いてきました。障がい者施設で働くのは初めてです。最初は分からないことも多く、どうやってご利用者と関わっていったらよいのかわかりませんでしたが、いろいろな方に支えられ何とか働くことができています。今後もご利用者と新しい事にもどんどんチャレンジし、自分も日々成長していけたらと思っています。よろしくお願いします。



根洗作業所

並松篤司 なみまつ あつし

- ①自然の中で体を動かす
- ②しあわせは、いつも自分の心が決める
- ③キャンピングカーで星空スポットを巡る

半世紀分の人生が過ぎたタイミングで、異業種より転職して参りました。分からないことばかりですが、今までの社会人経験を活かしつつ、少しでもご利用者の皆様のお役に立てればと考えます。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、何卒、よろしくお願いいたします。趣味は、カラオケ(合唱)、ジョギング、釣り、トレッキング、映画、音楽鑑賞、パソコンなどです。お気軽に声をかけてください。



工房めい

田中琴乃 たなかことの

- ①友人との外出、読書や映画鑑賞
- ②どんなときも自分らしさを忘れず大切に
- ③日本1周旅行をしたい

元々は大学でリハビリテーションを専門とする職種を目指していました。在学中に様々な領域の病院での実習をしてきましたが、知的障がいをもつ方と関わったことはありませんでした。しかし、そこで学んできたことを活かしながら新しいことに挑戦してみたいと思い、浜松協働学舎に就職を決めました。

ご利用者との関わりに難しさを感じることもありますが、皆さんの小さな変化や能力を見逃さず、一緒に楽しく過ごしていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。



こもれびの家

猪野厚志 いの あつし

- ①好きなTV番組を見る
- ②天網恢恢疎にして漏らさず
- ③内緒

今では都会になってしまいましたが、かつては田園風景の美しさが自慢の土地に生まれ、縁あってこの浜松市にやってまいりました。比較的保守的な業界から福祉に転じ、約1年になります。関係するすべての方に支えられ、とても充実した毎日を過ごしています。新しいチャレンジがこれからも続きます。多少の失敗もするかもしれませんが、日々これ勉強の精神で業務に邁進いたします。これからも宜しくお願い致します。





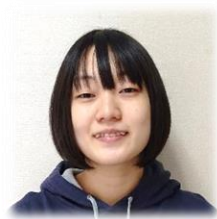
浜松協働学舎根洗寮

藪田妃菜 やぶた ひな

- ①寝たり、絵を描いたりしています。
- ②果報は寝て待て
- ③お菓子を爆買します。

赤色が大好きで、短大の頃は周りから引かれるほど赤色の物を集めていました。ディズニーキャラクターではミッキーとアリスが好きですが、アリスはイメージカラーが青色のため、お店で見つかる度に「なぜ赤じゃないのか」といつも葛藤しています。

今は笑顔だけが取り柄ですが、これからは赤色が似合う元気で明るい職員になれるよう、利用者さんとたくさんのコミュニケーションをとって、心を開いてもらえたら良いなと考えています。



浜松協働学舎根洗寮

斎藤理沙 さいとう りさ

- ①ゲームやドライブ、ライブに行きます
- ②人生ブライゼロ
- ③世界一周の旅に出たいです！

これまで、大学院で臨床心理を専攻して勉強していました。福祉の分野は初めてで、わからないことばかりですが、ご利用者さんや先輩職員の皆さんから、日々たくさんのことを学ばせていただいております。人の喜ぶ顔が見られる事や、心が繋がる瞬間が何よりの幸せです。楽しいこと・おもしろいことが大好きなので、早く業務に慣れて、ご利用者さんたちと良い関係を築いて、どんどん楽しいことをやれたらいいなと思っています！



コムニオ湖東

宮地真代 みやじ まよ

- ①ひたすら掃除が好きな DVD イッキ見
- ②“良い意味で”人は人 自分は自分
- ③旅行とライブに行きまくる

昨年12月より、コムニオ湖東で勤務させて頂いております。以前は障がい者の入所施設で17年半働いていました。

とにかく利用者さんという時間が大好きで、私にとっての安らぎであり、元気の源でもあります。これまでの経験を活かし、利用者さんと一緒に楽しみ、笑いがいっぱいの日々を送っていかれたと思います。頑張ります！

どうぞ、よろしくお願い致します。



浜松協働学舎根洗寮

山西寛人 やまにし ひろと

- ①寝たりドライブしたりしています。
- ②極限必勝
- ③ローン返し、あとは余暇に使います。

仮面ライダーが大好きでTVを観賞したり、ベルトなどを集めたりしています。仮面ライダーの知識であればだれにも負けません。自分の趣味をコミュニケーションの一部として支援に繋がればいいかなと思い、仮面ライダーのTシャツを着て支援しています。見かけたら是非声を掛けて下さい。どのようにすれば支援に繋がるか考えて支援を行っていききたいと思います。今後もよろしくお願い致します。



相談支援事業所まど

安藤沙穂 あんどう さほ

- ①子どもと遊ぶ、生き物の世話、自然観察
- ②人にしてもらいたいと思うことは、人にしなさい
- ③津波シェルターを作る

浜松協働学舎との出会いは、しまうま倶楽部のクッキーでした。子どもの頃、出会って以来、何かあれば、美味しいクッキーをいつも励みにしてきました。早いもので、出会いから20年以上が過ぎました。この春より、学舎の職員として受け入れられたことに、不思議な縁を感じています。これからは、相談員として、誠実さをモットーに任務を果たしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。



浜松協働学舎根洗寮

米澤雅 よねざわ みやび

- ①家族とのんびりし、寝たり、ゲームをします。
- ②死ぬこと以外かすり傷
- ③貯金とローン返済にあてます。

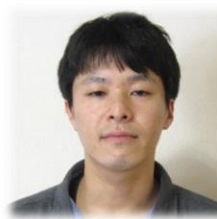
マスキングテープが好きで、集める事は勿論、プレゼントや色紙等をデコレーションすることも好きです。この春に念願の桜のマスキングテープを購入して気分が高揚しました。

大学では心理学を学んでいました。そのため対人の支援に関しては素人で、学ぶべきことがたくさんあります。至らぬ点が多々あるとは思いますが、自分の出来ることを最大限行い、利用者さんの気持ちに寄り添った支援を目指していきます。

テレビ取材を受けました！



工房めいで生産している「せんぶれっと」「ねじれっと」「どうまい卵」を浜松ケーブルテレビ「ウィンディ」さんで紹介いただきました。ありがとうございました。



浜松協働学舎根洗寮

渥美諒一 あつみ りょういち

- ①家族と過ごすことが多いです
- ②平穏無事
- ③家族と旅行に行きたいです

昨年末より根洗寮ひかりユニットにて勤務しております。以前に特別養護老人ホームにてご高齢の方の介護をしていました。障害者とは異なる分野ではありますが、同じ福祉業界での経験を活かしたら良いなと思いひかりの園に入職いたしました。また、これを機に新たな分野への挑戦となりますので、心機一転勉強させていただきたいと考えています。不慣れなことも多いですが精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

有限会社池田ゴム様よりマスクをご寄贈いただきました。

有限会社池田ゴム様より社会福祉法人ひかりの園に布マスクを 200 枚ご寄贈いただきました。社会福祉法人ひかりの園では、児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉の事業を運営しておりますが、新型コロナウイルス感染予防に最大限の取り組みをしているところです。ご寄付をいただいたマスクについては大切に使用させていただき、一層の安全・安心な施設運営に努めたいと思います。ありがとうございました。



株式会社セブン-イレブン ジャパン様より缶詰をご寄贈いただきました。

株式会社セブン-イレブン ジャパン様より、静岡県社会福祉協議会を通じまして、缶詰をご寄贈いただきました。栄養バランスが良く、長期保存も可能という商品で、ご利用者も大変喜んでいます。本当にありがとうございました。



～こもれびの家新商品のご案内～

Classic Organics さんの「くだものおやつ」

“ハンドメイドナチュラルエナジーバー”

Classic Organics 代表の脇さんは、浜松市南区でエナジーバーの研究をされています。

ご縁があり「こもれびの家」で「くだものおやつ」を製造開始しました。

エナジーバーとは、くだものやナッツなどの自然なものだけを丁寧に練りこんで

焼成したもので、主にデーツ（ナツメヤシの果実）を使用しています。

砂糖、保存料、着色料、香料は一切使用していませんので、

小さなお子さまにも安心してお召し上がりいただけます。

※食品アレルギーのある方は、表示を確認してからお召し上がりください。



スイートポテト

デーツ・レーズン・
さつまいもパウダー・
パンプキンシード・
アーモンド・オーツ・
ピーカンナッツ・
アーモンドプードル・
ココナッツオイル・
シナモンパウダー



オレンジマンゴー

デーツ・レーズン・
アーモンドプードル・
ドライマンゴー・
アーモンド・
ココナッツオイル・
オレンジミンス



チョコバナナ

デーツ・レーズン・
ドライバナナ・
くるみ・ココアパウダー・
アーモンドプードル・
サンフラワーシード・
カカオニブ・
ココナッツオイル



デーツ&ナッツ

デーツ・レーズン・
アーモンドプードル・
アーモンド・くるみ・
パンプキンシード・
ココナッツオイル・
シナモンパウダー

各280円(税込)

4種入り BOX 1,200 円(税込)もございます。お遣い物に最適です。

お問い合わせ：こもれびの家 TEL053-439-8235



株式会社平出章商店様 おいしいケーキをいつもありがとうございます。

パンやクッキーの原材料仕入れ業者の平出章商店様から、昨年度もたくさんのクリスマスケーキをいただきました。クリスマス会のお楽しみとして、皆で美味しくいただきました。平出章商店様、いつもありがとうございます。

2019 年度浜松協働学舎を支える会決算書

収入の部

科目	中区分	決算額 A	予算額 B	増減 A - B	備考
寄付金収入		1,600,500	1,600,000	500	
	会費収入	1,188,500	1,200,000	-11,500	会費
	寄附金 1	334,500	400,000	-65,500	一般寄附
	寄附金 2	77,500	0	77,500	台風 19 号災害義援金
雑収入		166,872	170,080	-3,208	
	バザー収入	166,810	170,000	-3,190	やきもの祭り 121580 スマイル祭 45230
	雑収入	62	80	-18	預金利息
合計		1,767,372	1,770,080	-2,708	

支出の部

科目	中区分	決算額 A	予算額 B	増減 A - B	備考
一般物品費		1,025	0	1,025	事務用品
印刷製本費		207,340	200,000	7,340	機関紙印刷代 封筒
通信費		198,876	200,000	-1,124	郵送費 手数料
雑費		179,416	220,000	-40,584	中元 歳暮 団体会費
小計		586,657	620,000	-33,343	
特別会計繰入金支出		283,240	400,000	-116,760	
	助成金	283,240	400,000	-116,760	施設助成
予備費		0	0	0	
支出計		869,897	1,020,000	-150,103	
当年度収支差額		897,475	750,080	147,395	次年度繰越金

台風 19 号災害義援金へのお礼

昨年 10 月に発生しました台風 19 号の被害により、お亡くなりになった方々にお悔みを申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。浜松協働学舎では微力ながら私たちにもできることをということで、皆様から災害義援金をお預かりし、日本赤十字社を通じまして、現地へ送金させていただきました。ご協力ありがとうございました。